

## 経営倫理研究所

Epistemic Research Institute of Social Ethics (ERISE エリス)

### 研究所の概要

ここ 500 年間程の間、私達人類は、近代化の大きな波の中を生きています。近代化は、1 度限りの現象ではなく、繰り返し、繰り返し、より強く、より洗練された形で重なり合って（重畳的、reflexive）進みます。21 世紀の世界の在り方を決定しているグローバリゼーション、大国間の競争／対立等の動きも、大きく見れば、この近代化の現時点における現れ方です。

21 世紀初頭の今日は、近代化のうねり自体が急速に変化している時期です。だからこそ、全ての組織、制度にとっては、今後の近代化のうねりの方向性を正しく捉えることが不可欠な課題であると言えます。それを捉え損ねると、正しいと思ってやっていることが、あっという間に時代遅れになり、活動が徒労に終わるだけならばともかく、場合によっては世の中に害をなす可能性があるためです。このように、時代の方向性に適するように自らの行動を律する指針こそが「倫理」であり、組織にとってのそのような指針こそが「経営倫理」ということになります。

では、近代化のうねりそのものは、どのようにすれば捉えられ、私達は適切な経営倫理を得ることができるのでしょうか。

この問題に取り組むのが、経営倫理研究所（以下、ERISE）です。

ERISE の第 1 の特徴は、従来とは大きく異なる社会科学上の手法に立脚して、社会の個別の側面を包含する、近代化のうねりそのものの研究に取り組んでいくことです。

具体的に立脚するのは、国際関係論、特に世界システム論と、情報社会学近代化論です。情報社会学近代化論は、近代化を、国家化、産業化及び情報化（智識化）の 3 つの側面で捉えます。今日の世界の動きは、国民国家間の競争としても捉えられるし、産業企業間の競争としても捉えられる一方、新たな主体間の価値（情報、智識）に関する競争としても捉えられるということです。経営倫理研究所は、この 3 番目の立場に立ちます。英語名を、‘Epistemic’ Research Institute としているのは、このことを表します（‘Economic’ Research Institute というのは、2 番目の立場に立つことを意味します。）。

第 2 の特徴は、社会的な実践を重視し、世界の広大な地べたを這い、小さくとも実際に世の中を望ましいと考える方向に変えていく活動に汗をかくことを基本方針としていることです。すなわち、世界の関係機関との共同研究及び協働事業の 2 本を活動の中心に据えております。

具体的には、以下のような活動を進めています。

第 1 は、アフリカとの共同研究／協働事業の推進です。

ERISE は、アフリカ側（南部アフリカ開発共同体開発銀行協会（SADC-dfrc）、南部アフリカ開発銀行（DBSA）等）と協働して、21 世紀アフリカに適した国家の発展戦略の構築に取り組んでいます。この作業は、2013 年に横浜で開催された TICAD（アフリカ開発会議）の際に両者で取り組みを合意し、2015 年には AIT でワークショップを開催し、それらの成果を ERISE 所長前田充浩は 2016 年 8 月にナイロビで開催された TICAD のサイド・イベント・セミナーにおいて報告を行いました。さらに 2016 年 11 月、ハボロネ（ボツワナ）で開催された、ボツワナ建国 50 周年記念世界 DFI (Development Finance



#### 所長

前田 充浩

MAEDA Mitsuhiko

#### キーワード

経営倫理、近代化、  
グローバリゼーション、情報社会学、  
情報社会構築学、リカレント

Institutions：開発金融機関）総裁会合において、主催者代表 H.E. Patrick Dlamini 南部アフリカ開発銀行総裁は、そのような研究に取り組む数少ない研究者として ERISE 所長前田充浩を紹介しました。

2019 年 3 月には、ハボロネにおいて SADC-dfrc、中小企業振興公社（Local Enterprise Authority）等との協議を進め、エスワティニにおいてエスワティニ大学等と、ハルツームにおいてスーダン科学技術大学等と共催セミナーを開催しました。

2020 年には、ERISE の内部機関として開発金融研究所（Institute of Development Finance：IDF）を設立し、発展途上国の経済社会開発のカギを握る資金である開発金融について、アフリカを始めとする世界の開発金融機関と連携して研究、事業を進めていくことになりました。IDF は、今後、SADC-dfrc（南部アフリカ開発共同体開発銀行協会）等世界の関連機関との連携を構築していくこととしています。

第 2 は、中央アジア諸国との共同研究／協働事業の推進です。

ERISE は 2017 年にキルギス及びカザフスタン、2019 年にタジキスタン、ウズベキスタン及びキルギスを、2020 年にウズベキスタンを訪問し、中央アジア諸国の情報化／産業高度化への協力について協議を行いました。

キルギスでは、2017 年 9 月に H.E. Rosa Otonbaeva 前大統領と会談し、その命を受けて、キルギス大統領府投資委員会と今後の連携についての MOU を締結しました。この MOU に基づき、2019 年 9 月、ERISE 所長前田充浩はキルギス大統領府の招聘により、キルギス産業円卓会議（政府幹部と経済団体トップが一堂に会してキルギスの経済政策を議論するハイレベル会合）において特別講演を行い、それらの業績が評価され、ERISE 所長前田充浩は 2020 年 10 月、キルギス大統領府顧問に任命されました。

カザフスタンでは、2017 年 10 月にアルマトイ電力通信技術大学等と、タジキスタンでは、2019 年 5 月にタジキスタン工科大学等と、ウズベキスタンでは、2019 年 6 月及び 2020 年 2 月の 2 度にわたってタシケント情報技術大学等と共催セミナーを開催しました。

第 3 は、ASEAN との共同研究／協働事業の推進です。

ERISE は、ASEAN の多くの大学との間で経営倫理、発展戦略等に関する多くのセミナー、ワークショップ、共同研究を実施しています。2017 年の設立以来、ASEAN において、同一のテーマで各地の大学との共催セミナーを連続して行う「グローバル・セミナー・キャラバン」を実施しております。

2017 年度の共通テーマは「A New Developmental Strategy to cope with the Middle Income Traps」で、泰日工業大学（バンコク）、ハノイ経営工科大学（ハノイ）、カンボジア首相府（プノンペン）、バンドン工科大学（バンドン）及びダルマプルサダ大学（ジャカルタ）で共催セミナーを開催しました。

2018 年度の共通テーマは「Disruptive Social Changes on a Blockchain」で、ダルマプルサダ大学（ジャカルタ）、テクニオン工科大学（ハイファ（ASEAN 域外）、Ton Duc Thang 大学（ホーチミン）、Dong A 大学（ダナン）及びハノイ経営工科大学（ハノイ）で共催セミナーを開催しました。

2019 年度の共通テーマは「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」で、ダルマプルサダ大学（ジャカルタ）、ラオス首相府経済研究所（National Institute for Economic Research）（ビエンチャン）、カンボジア工科大学（Institute of Technology, Cambodia：ITC）（プノンペン）、キリロム工科大学（Kirirom Institute of Technology：KIT）（キリロム）、カンボジア首相府 H.E. Son Koun Thor 首相府大臣（Minister Attached to the Prime Minister）（プノンペン）、ハノイ経営工科大学（Hanoi University of Business and Technology）INBUS（The Institute of Business Studies and Development）（ハノイ）及び Dong A 大学（ダナン）で共催セミナーを開催しました。

このような ERISE の活動は幾つかの国々で高く評価されつつあり、例えばカンボジアでは、2017 年

12月に、H.E. Son Koun Thor 首相府大臣より ERISE 所長前田充浩に対して、ERISE の活動を評価し、今後のカンボジア首相府との連携に関する大臣親書が交付されました。

第4は、情報社会構築学（Studies of Informatized Society Building）の取り組みです。

2015年に国際連合総会で採択され、目下、地球上の全ての人々が連携して取り組むべき課題として広く流布しつつある SDGs（Sustainable Development Goals）のスローガンは、「Leave No One Behind」（誰も置いてきぼりにしない）であり、この考え方に立脚すると、今日では情報社会構築は、既に高度な産業社会構築に成功した先進国だけに許される取り組みではなく、経済社会開発の状況に関わらず、全ての発展途上国が同時並行で推進すべき取り組みであると考えられます。一方発展途上国は数が多い（2020年版の OECD-DAC リストでは142か国）ことに加えて多様であるため、それら発展途上国における情報社会構築のためには、発展途上国専用の、かつ発展途上国の類型毎に特化した情報社会構築モデルが必要になります。先進国を念頭に構築された情報社会構築モデルをそのまま適用することは現実的ではないのです。

このため ERISE と各国の協働研究者は、そのような発展途上国の類型毎に特化した情報社会構築モデル作成の協働研究を推進しており、その理論的基盤として情報社会構築学の構築に取り組んでいます。2019年には、世界情報社会構築学研究者協会（Global Association of Informatized Society Building Researchers :G-AIR（ジーエアー））が設立され、ERISE 所長前田充浩は、初代会長に就任しました。

第5は、日本の地域におけるリカレント教育の推進です。

人生100年時代。日本の地域において、質の高いリカレント教育の制度を構築することは、まさに国民的課題であると言えます。ERISE は関係機関と連携し、この課題に応えるための取り組みを推進しています。

第6は、世界の企業の SDGs 関連の CSR 支援です。現在世界の企業は膨大な CSR 事業を展開しており、それらが真に SDGs（Sustainable Development Goals）に即したものになるようにすることは、世界の発展にとって、重要な課題です。ERISE は、この問題について、発展途上国関係者と世界の企業の橋渡しとなる活動を展開しています。

ともに「第3新近代」を生きるものとして、みなさまの御支援を心よりお願い申し上げます。

## 令和2年度の実施項目

[アフリカ]

### ・第3新近代（21世紀アフリカ型近代化）型発展戦略の基本モデルとしての「Financial Ownership Model」を開発

ERISE は、21世紀アフリカの発展戦略は、20世紀アジアの発展戦略の単なる模倣ではなく、全く新たなものになると考えています。令和2年度においては、南部アフリカ開発共同体開発銀行協会（SADC-dfrc）と連携し、アフリカに関するそのような発展戦略モデルを、特に開発金融に着目して「Financial Ownership Model」として共同研究します。

### ・開発金融研究所（Institute of Developmental Finance : IDF）を開設

「Financial Ownership Model」の発展戦略を構築し、アフリカにおいて実装するための機関として、開発金融研究所（Institute of Developmental Finance : IDF）を開設します。メンバーは、アフリカ各国の開発銀行関係者を予定しています。

[ASEAN]

### ・情報社会構築学に基づく ASEAN 各国における情報社会構築モデルの構築

情報社会構築学は、発展途上国の類型毎に特化したそれぞれの情報社会構築モデルを作成するものです。これに基づき、現地の関係機関との連携の下に、国家レベルでは特にラオス及びカンボジア、地域レベルでは特にベトナム中部、インドネシアの西ジャワ州及びスンバ島に着目し、それぞれにおける情報社会構築モデルの作成に取り組みます。

また、引き続き統一テーマを設定し、ASEAN 各国の大学等とのグローバル・セミナー・キャラバンを実施します。

[中央アジア]

### ・中央アジア諸国における EIIT (Eurasian Institute of Industrial Technology) 支部の開設

ERISE は、中央アジア諸国における発展戦略の構築及び実施のために平成 29 年度に EIIT を設置したところであり、令和 2 年度においては、この支部を中央アジア諸国において設置し、活動を強化します。

[リカレント教育]

### ・リカレント・アカデミーの開始と MeeS (Music Experience empowered by Synthesizer みいず) の推進

人生 100 年時代に対応する質の高い総合教育の拠点としてのリカレント・アカデミーを開始し、令和 2 年度においてはその中で音楽教育、特にシンセサイザー・オーケストラを始めとする MeeS (シンセサイザーを活用した様々な音楽体験) を推進します。推進においては、シンセサイザー・オーケストラ等を推進するために設立された一般社団法人 PYGMALIUS ACADEMY 等と連携します。

## 令和元年度の研究活動内容及び成果

### 1. [ASEAN]

#### (1) ラオス (2019 年 6 月、2019 年 12 月)

##### ① ラオス ICT/ブロックチェーン・セミナー (ビエンチャン、2019 年 6 月 13 日)



ERISE 所長前田充浩は、ラオス商工省 (Ministry of Industry and Commerce (MOIC)、Economic Research Institute for ASEAN and East Asia (ERIA) 及び Lao ICT Commerce Association (LICA) 共催で開催されたラオス ICT/ブロックチェーン・セミナーにおいて、「Disruptive Social Changes on Blockchain」のタイトルで特別講演を行い、またパネル・ディスカッションのパネリストを務めました。

②ERISE＝ラオス首相府経済研究所(National Institute for Economic Research)共催セミナー  
「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」(ビエンチャン、2019年12月9日)



ERISE は、2019年12月9日、ビエンチャンのラオス首相府経済研究所 (National Institute for Economic Research)において、「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」をテーマに共催セミナーを開催しました。ラオス側は、Leeber Leebouapao 所長以下研究員が約30名出席しました。ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」等の発表を行いました。



(Leeber Leebouapao 所長との協議)

③ERISE＝ラオス首相府経済研究所(National Institute for Economic Research)＝アジア経済研究所(Institute of Developing Economies)／バンコク・リサーチ・センター合同サバンナケート現地調査 (サバンナケート、2019年12月10日～12月12日)

ERISE は、2019年12月10日から12月12日の間、ラオス首相府経済研究所(National Institute for Economic Research)及びアジア経済研究所(Institute of Developing Economies)／バンコク・リサーチ・センターとの合同で、サバンナケート現地調査を実施し、SEZ 視察、地方農政局との協議、農場視察等を実施しました。





(サバンナケート SEZ(ドライポート))



(サバンナケート州農政局)

## (2) インドネシア (2019 年 11 月～12 月)

### ① ERISE=ダルマプルサダ大学(Universiti Darma Persada)=Umbu Marisi 財団合同スンバ島現地調査 (スンバ島(インドネシア)、2019 年 11 月 24 日～11 月 29 日)

ERISE は、2018 年 1 月に開始したダルマプルサダ大学(Universiti Darma Persada)=Umbu Marisi 財団合同のスンバ島総合開発計画プロジェクトの一環として、2019 年 11 月 24 日から 11 月 29 日までの間、合同現地調査を実施しました。

#### ① —① Prai Ijin 村における Agro Geo-Forming フィージビリティ調査 (Prai Ijin、2019 年 11 月 26 日)



#### ① —② Prai Ijin 村における Marapu Priest へのヒアリング(Prai Ijin、2019 年 11 月 26 日)



① 一③ Umbu Marisi 財団 Umbu Marisi 理事長との協議(Waingapu、2019 年 11 月 27 日)



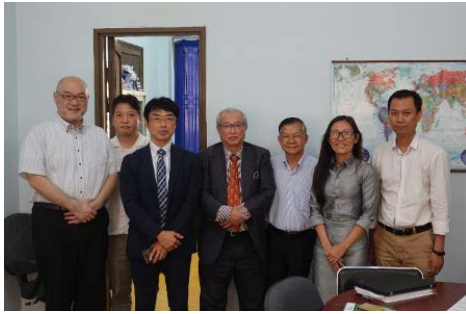
②ERISE=ダルマプルサダ大学(Universiti Darma Persada)共催「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」セミナー(ジャカルタ、2019 年 12 月 2 日)



ERISE は、2019 年 12 月 2 日、ダルマプルサダ大学(Universiti Darma Persada)との共催で、ダルマプルサダ大学において、「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」セミナーを開催しました。

(3) カンボジア (2020 年 1 月)

- ① ERISE・カンボジア工科大学(Institute of Technology, Cambodia : ITC)共催「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」セミナー(プノンペン、2020 年 1 月 14 日)



ERISE は、2020 年 1 月 14 日、カンボジア工科大学(Institute of Technology, Cambodia: ITC)において、ITC との共催で「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」セミナーを実施しました。セミナーには、カンボジア文化省の H.E. Phol Norith 次官(Under Secretary of State, Ministry of Culture and Fine- Arts)も出席しました。



(H.E. Phol Norith, Under Secretary of State, Ministry of Culture and Fin-Arts)

**②カンボジア工業手工芸品省(Ministry of Industry and Handicraft)との協議(プノンペン、2020 年 1 月 14 日)**



ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は、カンボジア工業手工芸品省(Ministry of Industry and Handicraft)において、Yea Bunna 局長とカンボジア産業の発展戦略について協議を行いました。

**③ERISE・キリロム工科大学(Kirirom Institute of Technology :KIT)共催「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」セミナー(キリロム、2020 年 1 月 15～16 日)**





ERISE は、2020 年 1 月 15 日及び 1 月 16 日、キリロム工科大学において、「An Advanced Methodology of Informatized Society Building」セミナーを共催しました。



(1 月 15 日)



(1 月 16 日)

④カンボジア首相府 H.E. Son Koun Thor 首相府大臣(Minister Attached to the Prime Minister)との協議(プノンペン、2020 年 1 月 17 日)



ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は、2020 年 1 月 17 日、カンボジア首相官邸 Peace Building において、H.E. Son Koun Thor 首相府大臣(Minister Attached to the Prime Minister)と、ERISE の推進しているカンボジア中小企業振興策についての協議を行いました。

(4) ベトナム(2020 年 3 月)

① ERISE ホーチミン事務所におけるワークショップ(ホーチミン、2020 年 3 月 3 日)



(Vo Duc Thang・ERISE ホーチミン事務所長)

② ERIA(Economic Research Institute for ASEAN and East Asia)ハノイ事務所山田康博(Prof. Yasuhiro Yamada)所長とのワークショップ(ハノイ、2020 年 3 月 4 日)



(Prof. Yasuhiro Yamada、ERIA ハノイ事務所長)

③ VJCC(Vietnam-Japan Human Resources Cooperation Center)ハノイ事務所 Dr. Nguyen Thi Hien 所長とのワークショップ(ハノイ、2020 年 3 月 5 日)



(Dr. Nguen Thi Thien・VJCC ハノイ事務所長、佐々木十一郎チーフ・アドバイザー)

④ ハノイ経営工科大学(Hanoi University of Business and Technology)INBUS(The Institute of Business Studies and Development)Prof. Dr. Nguyen Manh Quan 所長とのワークショップ(ハノイ、2020 年 3 月 6 日)



(ハノイ経営工科大学(Hanoi University of Business and Technology)INBUS(The Institute of Business Studies and Development)Prof. Dr. Nguyen Manh Quan 所長)

⑤ Dong A 大学との共催ベトナム中部発展セミナー(ダナン、2020 年 3 月 11 日)



ERISE は、2020 年 3 月 11 日、Dong A 大学において、ベトナム中部発展セミナーを Dong A 大学と共催し、ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は、中小企業ベンダーリスク・マネージメントに関する政策提言を行いました。

⑥ Dong A 大学との共催グローバル PBL セミナー(ダナン、2020 年 3 月 12 日)





ERISE は、2020 年 3 月 12 日、Dong A 大学において、Dong A 大学とグローバル PBL セミナーを共催し、ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は、基調講演を行いました。



(出席した Dong A 大学教員)



(Dong A 大学 Dr. Nguyen Thi Anh Dao 学長)



(Dong A 大学 Dr. Sam Luong Minh 副学長)

#### (5) ブルネイ・ダルサラーム(2019 年 10 月)

APEN(Asia Professional Education Network)主催“Human Resource Development in Industrie4.0 / Society5.0” (パンダル・スリ・ブガワン(ブルネイ)、2019 年 10 月 22 日)



ERISE 所長・前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は、自ら事務総長(Secretary General)を務める、アジア 13 か国の大学のネットワークである APEN(Asia Professional Education Network)が主催した“Human Resource Development in the Age of Industrie4.0 / Society5.0”セミナーにおいて、“Digital Human Resource Development in the Age of Digital Transformation”の発表を行いました。参加大学は、産業技術大学院大学(Advanced Institute of Industrial Technology (AIIT): 日本)、グジャラート工科大学(Gujarat Technological University(GTU): インド)、ブルネイ大学(Universiti Brunei Darussalam (UBD): ブルネイ)、マレーシア工科大学(Universiti Teknologi Malaysia(UTM): マレーシア)及び東ヴィサヤス州立大学(Eastern Visayas State University: フィリピン)の 5 か国から集まりました。

## 2. [南部アフリカ開発共同体]

(1) DBSA (南部アフリカ開発銀行: Development Bank of Southern Africa) ショーケース・セミナー (東京、2019 年 8 月 23 日)



ERISE は、東京において、DBSA(南部アフリカ開発銀行: Development Bank of Southern Africa)ショーケース・セミナーを、DBSA 及び JICA と共催し、ERISE 所長・前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda)は主催者代表挨拶を行いました。

## 3. [中央アジア]

### (1) タジキスタン

経営倫理研究所は、2019 年 5 月にタジキスタンを訪問し、以下の活動を実施しました。

①タジキスタン工科大学 (Tajik Technical University) におけるワークショップ (ドゥシャンベ、2019 年 5 月 24 日)





ERISE は 2019 年 5 月 24 日、ドゥシャンベにおいて、タジキスタン工科大学(Tajik Technical University) Mamadamon Abdulloev 学長以下幹部と「タジキスタンにおける産業人材育成」をテーマにワークショップを開催しました。

**②FIFTYFIVEGROUP 及び JICA タジキスタン事務所とのタジキスタン起業家向け共催セミナー(ドゥシャンベ、2019 年 5 月 24 日)**



ERISE は 2019 年 5 月 24 日、ドゥシャンベにおいて、FIFTYFIVEGROUP 及び JICA タジキスタン事務所とタジキスタン起業家向け共催セミナーを開催し、ERISE 所長前田充浩は基調講演を行い、ERISE 研究員中沢賢治はコメンテータを務めました。

**① EBRD タジキスタン事務所 Ayten Rustamova 所長との協議(ドゥシャンベ、2019 年 5 月 27 日)**



ERISE 所長前田充浩及び ERISE 研究員中沢賢治は、ドゥシャンベにおいて、EBRD ドゥシャンベ事務所 Ayten Rustamova 所長と、タジキスタン発展に関する協議を行いました。

②      マイクロ・ファイナンス Humo との協議(ドゥシャンベ、2019 年 5 月 27 日)



ERISE 所長前田充浩及び ERISE 研究員所長中沢賢治は、ドゥシャンベにおいて、マイクロ・ファイナンス Humo と、タジキスタンにおける中小企業金融に関する協議を行いました

⑤タジキスタン国家投資資産管理委員会(State Committee on Investment and State Property Management)におけるワークショップ(ドゥシャンベ、2019 年 5 月 28 日)



ERISE は、2019 年 5 月 28 日、ドゥシャンベにおいてタジキスタン国家投資資産管理委員会(State Committee on Investment and State Property Management) Izatullo Nurullozoda 投資振興局長 (Head of Investment Promotion Department) 以下幹部とのワークショップを開催し、ERISE 所長前田充浩は中小企業振興策に関する基調講演を行いました。

③      JICA タジキスタン事務所田邊秀樹所長との協議(ドゥシャンベ、2019 年 5 月 28 日)



ERISE 所長前田充浩及び ERISE 研究員中沢賢治は、ドウシャンベにおいて、JICA タジキスタン事務所田邊秀樹 所長と、タジキスタンにおける中小企業金融に関する協議を行いました

(2) ウズベキスタン

ERISE は 2019 年 6 月及び 2020 年 2 月にウズベキスタンを訪問し、以下の活動を行いました。

① EBRD タシケント事務所 Alkis Drakinos 所長との協議(タシケント、2019 年 6 月 3 日)



ERISE 所長前田充浩及び ERISE 研究員中沢賢治は、タシケントにおいて、EBRD (European Bank of Reconstruction and Development) タシケント事務所 Alkis Drakinos 所長と、ウズベキスタンの発展に関する協議を行いました。

② JETRO ウズベキスタン事務所下社学所長との協議(タシケント、2019 年 6 月 3 日)



ERISE 所長前田充浩及び ERISE 研究員中沢賢治は、タシケントにおいて、JETRO タシケント事務所下社学所長と、ウズベキスタン発展に関する協議を行いました。

③ウズベキスタン国家試験センターProf. Madjit M. Karimov 所長との協議(タシケント、2019 年 6 月 3 日)





ERISE 所長前田充浩及び ERISE 研究員中沢賢治は、タシケントにおいて、ウズベキスタン国家試験センター (Cabinet of Ministers of the Republic of Uzbekistan State Testing Center) の Prof. Madjit M. Karimov 所長と、ウズベキスタンの発展に関する協議を行いました。

**④タシケント情報技術大学(Tashkent University of Information Technology)との共催セミナー(タシケント、2019 年 6 月 4 日)**



ERISE は 2019 年 6 月 4 日、タシケントにおいて、「The Digital Transformation in Uzbekistan」のタイトルで、タシケント情報技術大学( Tashkent University of Information Technology)との共催セミナーを開催し、ERISE 所長前田充浩は基調講演を行いました。

**5 ウズベキスタン IT 産業人材育成セミナー(IT Industrial Human Resource Development in Uzbekistan) (タシケント情報工科大学(Tashkent University of Information Technology)と AIIT の共催、タシケント(ウズベキスタン)、2020 年 2 月 25 日)**



ERISE 所長前田充浩 (Prof. Mitsuhiro Maeda) は、2020 年 2 月 25 日、AIIT がタシケント情報工科大学 (Tashkent University of Information Technology) と共催したウズベキスタン IT 産業人材育成セミナー (IT Industrial Human Resource Development in Uzbekistan) において、主催者代表挨拶を行うとともに、「An Advanced Methodology of Informatized Society Building in Uzbekistan」のタイトルで基調講演を行いました。

**(3) キルギス (2019 年 9 月～10 月)**

**①キルギス大統領府主催キルギス産業円卓会議特別講演(イシククル(キルギス)、2019 年 9 月 20 日)**



ERISE 所長前田充浩 (Prof. Mitsuhiro Maeda) は、キルギス大統領府主催キルギス産業円卓会議に招待され、前田充浩 (Prof. Mitsuhiro Maeda) は、'The Secret of the Japanese Miracle – “Developmentalism” as the Japanese Special Model of Public-Private Partnership’のタイトルで特別講演を行いました。

## ② ERISE/JICA 共催「キルギスにおけるデジタル SDGs」(Digital SDGs in Kyrgyz Republic) セミナー (ビシュケク(キルギス)、2019 年 9 月 23 日)



ERISE は JICA と共催で、「キルギスにおけるデジタル SDGs」(Digital SDGs in Kyrgyz Republic) セミナーを開催しました。ERISE 所長前田充浩 (Prof. Mitsuhiro Maeda) はブロックチェーンを用いた新たな中小企業金融の発表を行い、ERISE 研究員中沢賢治 (Kenji Nakazawa) は総括コメントを行いました。クロージング・リマークスは、JICA キルギス事務所の根本直幸 (Naoyuki Nemoto) 所長が行いました。

## ③ キルギス投資委員会事務局顧問就任(ビシュケク(キルギス)、2019 年 10 月 1 日)



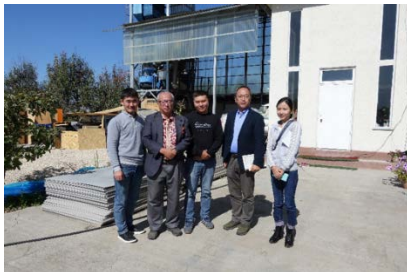


ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda) 及び ERISE 研究員中沢賢治(Kenji Nakazawa) は、キルギス政府より、'Advisor to the Secretariat of the Business Development and Investment under the Government of the Kyrgyz Republic'に任命されました。

④ キルギス産業／金融実態調査(ビシュケク、カラコル、オシュ(キルギス)、2019 年 9 月 18 日～10 月 4 日)

ERISE 所長前田充浩(Prof. Mitsuhiro Maeda) 及び ERISE 研究員中沢賢治(Kenji Nakazawa) は、2019 年 9 月 18 日から 10 月 4 日までの間、キルギスに滞在し、キルギスの政府関係者、産業関係者、金融関係者、教育機関に加え、MDBs (Multilateral Development Banks)、援助機関等との協議を行い、併せてキルギスの産業及び金融の実態調査を行いました。

⑤ ー①Danek(食用油精製 SME)(カラコル、2019 年 9 月 22 日)



④ー②Karakol 投資委員会(Investment Council of Karakol)(カラコル、2019 年 9 月 22 日)



④ー③IKMilk(乳製品 SME)(カラコル、2019 年 9 月 22 日)



④—④Vocational School #14 (カラコル、2019 年 9 月 23 日)



④—⑤イシククル開発基金(Yssyk-Kol Development Fund) (カラコル、2019 年 9 月 23 日)



④—⑥キルギス国立工科大学(Kyrgyz State Technical University) Djamanbaev Murataly 学長  
(ビシュケク、2019 年 9 月 24 日)



④—⑦Business Association JIA・Farkhad Pakyrov 事務局長(ビシュケク、2019 年 9 月 24 日)



④—⑧キルギス投資庁(Investment Promotion and Protection Agency of the Kyrgyz Republic) Zhalyyn Zheenaliev 投資課長(Head of Investment Promotion and Support Division) (ビシュケク、2019 年 9 月 25 日)



④—⑨KICB(Kyrgyz Investment and Credit Bank) Kwang-Young Choi 頭取(ビシュケク、2019 年 9 月 25 日)



④—⑩キルギス銀行協会(The Union of Banks of Kyrgyzstan) (ビシュケク、2019 年 9 月 25 日)



④—⑪Open Joint Stock Company “GUARANTEE FUND”・Abakirov Malik-Aidar 理事長 (2019 年 9 月 25 日)



④—⑫Business Association JIA・Azzambek Zheenbai uulu オシュ(Osh) 事務所長(オシュ、2019 年 9 月 26 日)



④—⑬Agro Invest(オシュ、2019 年 9 月 26 日)



④—⑭オシュ州政府産業振興局長(オシュ、2019 年 9 月 26 日)



④—⑮Vocational School #113(オシュ、2019 年 9 月 26 日)





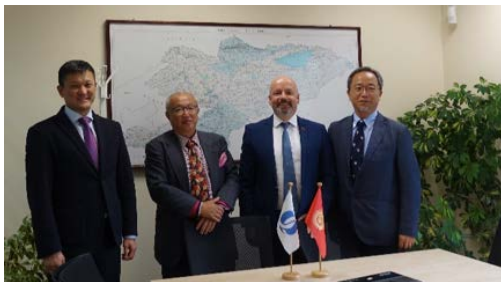
④—⑯ЖИА скажут куда ехать (食品加工 SME) (オシュ、2019 年 9 月 26 日)



④—⑰キルギス教育科学省(The Ministry of Education and Science of Kyrgyz Republic) Taalaibek Cholponkulov 初等職業教育庁長官(Director, Agency for Primary Vocational Education) (ビシュケク、2019 年 9 月 27 日)



④—⑱EBRD(European Bank for Reconstruction and Development) Neil McCain キルギス事務所長(ビシュケク、2019 年 9 月 27 日)



④—⑲Vocational Lyceum #98(ビシュケク、2019 年 9 月 28 日)





④—②⑩Kyrgyz Software and Services Developers Association・Shirin Mukanbetova CEO  
(ビシュケク、2019年9月30日)



④—②⑪International Business Council・Askar Sydykov 事務局長(ビシュケク、2019年9月30日)



④—②⑫UNDP Kanagat Alyshbaev・Project Coordinator on Digital Skills for Youth on Digital Economy(ビシュケク、2019年9月30日)



④—②⑬USAID Enterprise Competitiveness Project・Uluk Kydyrbaev・Business Enabling Environment Director(ビシュケク、2019年9月30日)



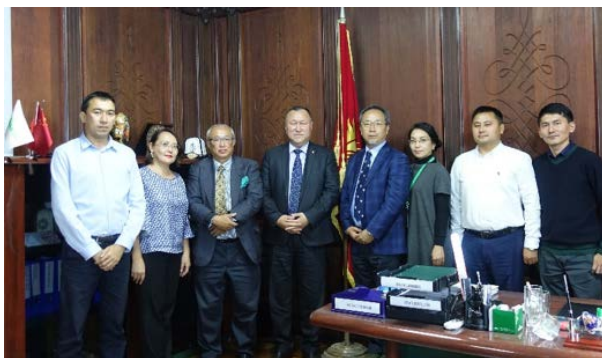
④—②④ADB・Candice McDeigan キルギス事務所長(ビシュケク、2019 年 10 月 1 日)



④—②⑤Bai Tushum Bank・Kachkeev Muras 第1副理事長(ビシュケク、2019 年 10 月 1 日)



④—②⑥Ayil Bank・Gulchehra Kamchibekova 副理事長(ビシュケク、2019 年 10 月 1 日)



④—②⑦Association of Micro Finance Institutions Kyrgyzstan・Alishep Akdaraliev 事務局長  
(ビシュケク、2019 年 10 月 1 日)

